

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名		
01	10	05	01	104330	生涯学習講座開催事業費		
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進		
	施策	01	自主的学習の推進				
目的	市民の生涯学習のきっかけづくりや学習機会の増加を図るため、生涯学習講座を開催する。						
対象	市民及び市内在勤者						
意図	市民の課題解決のきっかけづくりなど生涯学習の場や機会を提供する						
事業概要	富士大セミナー、岩大講座... 13千円 まなび学園、石鳥谷生涯学習会館、大迫・石鳥谷・東和の各総合支所での生涯学習講座の開設 高齢者学級... 2,170千円 女性学級... 162千円 市民講座... 988千円 石鳥谷地域支援事業... 72千円 27コミュニティで実施する生涯学習事業を支援 研修実施、人材育成等... 395千円 共通経費... 17,639千円						
市民参加の有無	無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託	
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	講座開催数	回	計画		330.00	337.00	
			実績		313.00	307.00	
2			計画				
			実績				
3			計画				
			実績				
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02
1	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標		90.00	90.00	
			実績		99.10	92.00	
2			目標				
			実績				
3			目標				
			実績				
成果指標の達成度	目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
学習機会の提供・きっかけづくりにより、成果として市民の生涯学習活動への意欲を醸成する達成度を測る指標として設定したものであるが、内容が充実した講座等を開催できたことにより、受講者アンケート項目の「もっと学んでみたい」「学んでみたい」と思う人が、目標値の90%を超える高い割合により達成した。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・市民のライフスタイルや生活課題が多種多様化している中で、課題解決のためのきっかけづくりなど学習機会を提供し、市民の生涯学習への取り組みを支えることはひとつづくりにつながり妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・生涯学習機会を提供することにより、趣味や生きがいのため学習として個人を高めるだけでなく、地域づくりへの関心や連帯感の向上が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・事業費は講座数の削減により、これ以上削減余地はない ・職員が関わるのは、コーディネート、講師との連絡調整などが主な業務であり、人件費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は、特定の市民ではなく、希望する全市民の誰もが対象であることから、受益機会は均等である。 ・講座開催の最低限の経費となる講師の謝礼経費については公費負担としているため適正である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	学習機会として提供している各種講座をつうじて、生涯学習のきっかけづくりや、自主学習への関心が高まっている。
	次年度に向けて	学習者の主体的な学習支援と学びの循環が継続できる学習機会の提供を行っていくとともに、併せて地域での主体的・自主的な生涯学習活動を支援していくことが重要である。

平成31年度

事務事業評価シート

【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名
01	10	05	01	104340	生涯学習活動支援事業費
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進
	施策	01	自主的学習の推進		
目的	市民の自主的な生涯学習の活動を支援するため、学習機会と発表の場を提供する。				
対象	市民及び市民団体				
意図	生涯にわたっていつでもどこでも学べる環境を提供する				
事業概要	ふれあい出前講座 1,838千円 生涯学習講師、公共機関職員等の派遣 生涯学習フェア開催 809千円 まなび学園祭の実施(10月) まなびキャンパスカード 115千円 児童・生徒の文化施設等利用に係る減免 学習資源検索システム 185千円 生涯学習情報をホームページで提供 はなまきまなびポイント 6千円 生涯学習講座等の参加記録事業 共通事業 2,904千円				
市民参加の有無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会		事業協力・協定	後援・協賛
		補助・助成	委託		
活動指標		単位	区分	H30	H31
1	生涯学習団体登録数	団体	計画	190.00	190.00
			実績	132.00	127.00
2			計画		
			実績		
3			計画		
			実績		
成果指標		単位	区分	H30	H31
1	生涯学習講師新規登録者数	人	目標	14.00	14.00
			実績	7.00	14.00
2	受講者アンケートによる、もっと学んでみたいと思う人の割合	%	目標	90.00	90.00
			実績	99.10	92.00
3	まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合	%	目標	70.00	70.00
			実績	48.10	45.08
成果指標の達成度			目標値より高い	概ね目標値どおり	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析(成果指標を設定しない場合は、その理由を記載)	
生涯学習講師新規登録者数 ・令和元年度は、14名の新規登録であるが内6名は、20～50代であり多様な年齢層にも本事業の重要性について認識いただいたものと思慮される。今後も目標達成するよう多様な年齢層の講師に周知していきたい。 受講者アンケートで「もっと学んでみたい」と答えた人の割合 ・生涯学習を自主的に取り組むために、当事業でメニューを提供している「ふれあい出前講座」は人気のメニューであり、多くの講師を派遣することにより学習意欲の醸成に繋がっていると思慮される。 まなび学園祭を見て、生涯学習に取り組んでみたいと思う人の割合 ・まなび学園祭は、「学習成果の発表の場」「生涯学習のきっかけづくりの場」と位置付けており、観覧等を通じて、市民の学習ニーズや学習意欲の向上に少なからず影響を与えていると思料されるものの、アンケートでは、約半数の方にとどまっており、さらなる魅力づくりが必要と考える。	
目的妥当性	公共関与の妥当性 妥当である 見直し余地がある 妥当でない
有効性	成果の向上余地 向上余地がある 向上余地がない
効率性	事業費・人件費の削減余地 事業費の削減余地がある 人件費の削減余地がある どちらも削減余地がない
公平性	受益と負担の適正化余地 受益機会の見直し余地がある 費用負担の見直し余地がある 適正である
総合評価	今年度の振り返り 生涯学習のきっかけづくりとして、多様な学習機会の提供を行ったことにより、市民が主体的・自主的に学ぶ意欲が高まっている。
	次年度に向けて 本事業は、市民が主体的に学ぶために必要な、講師等の学習資源の紹介や学習資源の発表などをつうじた生涯学習のきっかけづくりをねらいとしており、今後とも主体的、自主的に学ぶ意欲の醸成に努めていきたい。

平成31年度

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名			
01	10	05	01	104390	視聴覚教育推進事業費			
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進			
	施策	01	自主的学習の推進					
目的	市民が生涯にわたって学ぶ習慣を身につけるため、良質な資料を提供し自主的な生涯学習活動を支援するとともに、視聴覚学習の場を提供する。							
対象	市民、市内に勤務先を有する者							
意図	生涯にわたって学ぶ習慣を身につけることができる							
事業概要	視聴覚教育推進事業 2,803千円 ・視聴覚資料・教材の貸出（学校、振興センター、自治公民館等） ・16ミリ映写機操作技術講習会 年1回 ・16ミリ映写機オーバーホール（1台）、保守点検（6台） ・図書館こども映画会（毎月1回） ・夏・冬・春休みこども映画会（各1回） ・こども読書週間映画会 1回 ・読書週間映画会 2回 ・休日ほっと映画会（毎月1回） ・バリアフリー映画会（聴覚障がい者等）（年1回）							
市民参加の有無								
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託		
活動指標			単位	区分	H30	H31	R02	
1	視聴覚資料の利用本数			本	計画	390.00	400.00	
					実績	327.00	312.00	
2					計画			
					実績			
3					計画			
					実績			
成果指標			単位	区分	H30	H31	R02	
1	視聴覚資料を活用した観覧者数			人	目標	6,900.00	7,500.00	
					実績	7,593.00	6,988.00	
2					目標			
					実績			
3					目標			
					実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い		

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
3月に新型コロナウイルス感染症拡大防止のためイベントが中止となり、利用本数や観覧者数が伸びず目標値には達しなかったが、視聴覚教育ライブラリーの情報提供を促進し、各種団体への周知活動等を行ったこと等により、概ね目標値に近い参加が得られている。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	社会教育法第5条第1項17号に規定されている市町村教育委員会の事務である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	子ども向けの映画会については、児童が視聴できる開催時間、開催日を検討する。また、多くの市民に視聴覚ライブラリーの活用を促すため、図書館ホームページや振興センターを通じて情報提供を積極的に行うことで視聴覚資料の利用拡大を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業の7割が人件費で、事業費の削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内生涯学習団体等に資料等の提供を行っており、受益者への偏りはない。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	視聴覚教育事業の周知については図書館ホームページでの視聴覚教育ライブラリー情報の提供及び郷土資料収集やビデオデータのDVD化を行うなど、視聴覚資料や目録の充実、各種団体への周知方法を強化し、自主的な生涯学習のアイテムとして積極的に社会教育機関等の利用促進を図った。
	次年度に向けて	視聴覚教育事業の周知については引き続き図書館ホームページでの視聴覚教育ライブラリー情報の提供及び郷土資料収集やビデオデータのDVD化を行うなど、視聴覚資料や目録の充実、各種団体への周知方法を強化し、今後も自主的な生涯学習のアイテムとして積極的に社会教育機関等の利用促進を図る。

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	01	104430	東和コミュニティセンター整備事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	01	自主的学習の推進			
目的	生涯学習・地域づくり活動の場の整備					
対象	市民（生涯学習団体）					
意図	生涯学習の場及び地域づくり活動の拠点整備が図られる					
事業概要	東和コミュニティセンター新築（建築・電気設備・機械設備）工事（80%分） 鉄筋コンクリート造一部2階建 延べ床面積 1,114.15㎡ 東和コミュニティセンター新築工事監理業務 東和コミュニティセンター外構工事 駐車場の整備 東和コミュニティセンター備品整備 机・椅子等の整備 その他 開館式開催、監視カメラ等移設、看板作成、建築確認完了検査手数料、キュービクルフェンス設置業務、ふるさと歴史展示室 展示物製作・展示取付業務、公衆無線LAN環境整備業務、水道加入金					
市民参画の有無	東和コミュニティセンター整備に係る基本設計を対象に実施（関係機関・団体及び各振興センター単位での市民から基本設計についての意見聴取を実施）					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	新築工事	件	計画	1.00	1.00	
			実績	1.00	1.00	
2	外構工事	件	計画	1.00	1.00	
			実績	1.00	1.00	
3	備品整備	件	計画		1.00	
			実績		1.00	
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
本事業が、新しい施設等を整備するものであるため。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	市が整備する施設であり、良好な状態で使用していただくための整備は市が行うことが妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	市民から意見を聞き、使いやすく、また、安全性を確保し、利用しやすい施設の整備を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	設計業務、見積により積算しているため、削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	市が設置する施設であり、冷暖房料の負担や生涯学習団体の使用料減免を基本としながら営利企業などの場合には使用料を徴収するなど他の施設と同様に実施する。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	<ul style="list-style-type: none"> ・本事業は、生涯学習・地域づくり活動の場の整備として、平成30年度から整備を行ってきた。 ・外構工事との調整や駐車場の使用制限など調整を行い、11月18日から供用開始することができた。
	次年度に向けて	・利用される方々の意見等を聞きながら、より良い施設管理を目指していく。

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	01	104450	生涯学習施設整備事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	01	自主的学習の推進			
目的	芸術文化活動の充実					
対象	市民					
意図	市民が芸術文化活動へ積極的に参加し、生活の中で芸術文化に接する機会を増やす					
事業概要	生涯学園都市会館大規模改修実施設計業務委託		8,635千円			
	石鳥谷生涯学習会館トイレ洋式化実施設計業務委託		2,106千円			
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	実施設計業務委託	件	計画		2.00	
			実績		2.00	
2			計画			
			実績			
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
実施設計を作成することが目的の業務であることから、成果指標の設定はなじまない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・生涯学習施設は誰もが利用できる身近な公共施設であり、市民の生涯学習を支援する上でも、施設の大規模改修は妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
	妥当でない	
有効性	成果の向上余地	・施設改修により、安全性と快適性を高めることにより、利用者の利便性を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・平成31年度は、実施設計のみで必要最小限の費用であり削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
	どちらも削減余地がない	
公平性	受益と負担の適正化余地	・施設の利用者は全市民であり、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	生涯学園都市会館大規模改修実施設計業務委託 実施設計完了 石鳥谷生涯学習会館トイレ様式化実施設計業務委託 実施設計完了
	次年度に向けて	生涯学園都市会館 大規模改修工事の実施 石鳥谷生涯学習会館 トイレ様式化工事の実施

平成31年度

事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	03	104460	読書活動推進事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	01	自主的学習の推進			
目的	本に親しむ環境づくりや読書活動推進のため、読み聞かせ等の活動、人材育成を行う。また、第三次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、読書おもいで帳の発行など更なる読書活動の推進を図る。					
対象	乳幼児～高校生、一般					
意図	乳幼児親子への絵本配布や読み聞かせ指導や、乳幼児～小学生を対象とした「おはなし会」等の開催で親子のふれあいと読書への関心を高め、読書活動に関心のある市民を対象としたスキルアップ講座を行うことにより、更なる読書活動の推進を図る。					
事業概要	ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ事業 1,717千円 ・4か月児離乳食教室及び1歳6か月児健診の際に絵本を贈り、読み聞かせを実施。 読み聞かせ事業 4,664千円 ・図書館司書の配置及び乳幼児親子や小学生を対象とした読み聞かせを各館で定期的に実施。 花巻市みんなでライブラリー事業 181千円 ・小学生から高校生とその保護者を対象に、読書習慣の定着化や図書館の活用方法の周知、本と親しむ喜びなどを体得するため事業を開催。 ・親子で読書や図書館にふれ合い参加できる事業計画。 花巻市読書活動推進スキルアップ講座（富士大連携） 79千円 ・読書活動を行っている個人、団体等のスキルアップを図るための講座を開催。 読書おもいで帳の発行 22千円					
市民参画の有無						
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ実施回数	回	計画	125.00	125.00	
			実績	127.00	115.00	
2	読み聞かせ実施回数	回	計画	150.00	150.00	
			実績	142.00	130.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	ブックスタート及びブックスタートプラス、フォローアップ参加率	%	目標	99.00	99.00	
			実績	97.80	99.51	
2	読み聞かせ参加者数	人	目標	2,000.00	2,100.00	
			実績	2,132.00	1,591.00	
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度		目標値より高い		概ね目標値どおり		目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
平成26年度から、ブックスタート事業の対象者を11か月児から4か月児に変更したことにより、早い時期からより多くの母子参加の機会が得られ、読書推進を行うことができています。 3月から新型コロナウイルス感染症拡大防止のため事業やイベントをほぼ中止したため、読み聞かせの参加者は目標値を達成できなかった。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	子どもの読書活動の推進に関する法律及び第三次花巻市子ども読書活動推進計画に基づき、市が読書活動の環境の整備を推進するものである。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	4か月児と1歳6か月を対象とするブックスタート事業にフォローアップを加え、参加率の向上を図っている。また、事業の実施に当たっては、チラシやホームページ等を活用し、周知を図る。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	事業費は、配布絵本の購入費や非常勤職員報酬がほとんどであることから、削減の余地はない。また、人件費はブックスタート等事業を月4回（2時間程度）実施し、読み聞かせは、月3回（1時間程度）実施しており、その他はカウンター業務やレファレンス業務を行っているため、削減の余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	市内全域の乳幼児等を対象としており、公平・適正に実施されている。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	平成14年度から実施してきたブックスタートに加え、平成24年度から新たにブックスタートプラスとして1歳6か月児検診時に実施し、参加率は目標値を達成している。 読み聞かせの参加者数はイベント中止により目標値を達成できなかったが、引き続き周知を図り、読み聞かせボランティアの協力を得ながら継続して実施している。
	次年度に向けて	ブックスタートおよびブックスタートプラスの2つの事業を引き続き実施することにより、早い時期からの読書習慣の定着を図る。 引き続き広報誌・えふえむ花巻の図書館インフォメーション等を活用して周知を図り、今後とも読み聞かせボランティアの協力を得ながら継続して実施し、本への関心を高めるとともに読書習慣の定着を図る。 なお、ブックスタートや読み聞かせの参加者はほぼ目標を達成しており、ブックスタートや読み聞かせなどを行うことによる若年層の読書率を伸ばすことを目標として、次年度から下記の新たな指標を設定する。 新たな成果指標（単位：冊） 18歳以下の人口に対する1人当たり貸出冊数 H30実績 7.3冊 H31実績 7.9冊 R2目標 8.5冊

平成31年度
事務事業評価シート 【事後評価】

会計	款	項	目	事業コード	事業名	
01	10	05	03	104470	図書館整備事業費	
総合計画	分野	03	人づくり	政策	03 生涯学習の推進	
	施策	01	自主的学習の推進			
目的	生涯学習の拠点施設として、知識の向上や心の豊かさを求める市民ニーズに的確に対応できる機能を備えた新しい図書館を整備する。					
対象	市民					
意図	花巻図書館を新築整備し、生涯にわたり学べる環境を提供する					
事業概要	新花巻図書館整備 図書館アドバイザー謝礼（大学教授） 23千円 先進地視察旅費 93千円 新花巻図書館整備アドバイス業務 4,931千円 図書館候補地 地質調査・測量調査・不動産鑑定評価業務（7,210千円）は、次年度に繰り越し					
市民参画の有無	無					
市民協働の形態	共催	実行委員会・協議会	事業協力・協定	後援・協賛	補助・助成	委託
活動指標		単位	区分	H30	H31	R02
1	アドバイス業務	件	計画		1.00	
			実績		1.00	
2	地質調査・測量調査	件	計画		1.00	
			実績		0.00	
3			計画			
			実績			
成果指標		単位	区分	H30	H31	R02
1			目標			
			実績			
2			目標			
			実績			
3			目標			
			実績			
成果指標の達成度	-	目標値より高い	-	概ね目標値どおり	-	目標値より低い

成果指標の達成度の要因分析（成果指標を設定しない場合は、その理由を記載）		
計画を作成することが目的の事業であることから、成果指標の設定がなじまない。		
目的妥当性	公共関与の妥当性	・図書館は誰もが利用できる身近な公共施設であり市民の生涯学習を支援する施設を整備することは妥当である。
	妥当である	
	見直し余地がある	
有効性	成果の向上余地	・機能の充実した利用しやすい生涯学習施設として整備することにより利用者の増加が見込まれるほか、中心市街地の賑わい活性化が期待できる。
	向上余地がある	
	向上余地がない	
効率性	事業費・人件費の削減余地	・平成31年度は、基本計画を策定するにあたり、専門有識者にアドバイス業務を委託したい他、建設候補地の地質調査・測量調査の実施等、事業を進めるうえで必要な費用であり削減余地はない。
	事業費の削減余地がある	
	人件費の削減余地がある	
公平性	受益と負担の適正化余地	・受益者は、特定の市民ではなく全市民であり、誰もが利用できる施設の整備であることから、受益機会は均等である。
	受益機会の見直し余地がある	
	費用負担の見直し余地がある	
総合評価	今年度の振り返り	新花巻図書館整備基本計画の策定にむけて、専門企業などからアドバイス得て、事業手法案の一つとして「新花巻図書館複合施設整備事業構想」を作成し、市議会議員、社会教育委員、図書館協議会委員に説明を行うことが出来た。今後、公民連携事業で図書館を建築しようとする場合の基礎になるものと考えている。
	次年度に向けて	新花巻図書館整備基本計画の策定にむけて、市議会、関係機関、市民と意見交換等行いながら進めていくものであること。